

ワクチン	種類	乳児期									幼児期					学童期/思春期							
		生直後	6週	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9-11か月	12-15か月	16-17か月	18-23か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳以上
インフルエンザ菌b型 (ヒブ)	不活化			①	②	③						④ (注1)											
肺炎球菌 (PCV13)	不活化			①	②	③						④											(注2)
B型肝炎	ユニバーサル			①	②					③													(注3)
	母子感染予防	①	②							③													
ロタウイルス	1価			①	②				(注4)														
	5価			①	②	③			(注5)														
4種混合 (DPT-IPV)	不活化			①	②					③		④ (注6)											(7.5歳まで)
3種混合 (DPT)	不活化			①	②					③		④ (注6)											(7.5歳まで)
2種混合 (DT)	不活化																						⑥11-12歳 (注8)
ポリオ (IPV)	不活化			①	②					③		④ (注6)											①11歳:12歳
BCG	生									①													
麻疹・風疹混合 (MR)	生											①											② (注10)
水痘	生											①		②									(注11)
おたふくかぜ	生											①											② (注12)
日本脳炎	不活化														①② ③								④9-12歳
インフルエンザ	不活化																						毎年 (10月、11月などに) ①②
ヒトパピローマウイルス (HPV)	不活化																						(注13) 小6 中1 ①②③ (注14) 中2~高1

(注)はかかりつけ医が留意する事項です。詳しくは裏面をご覧ください。

- 定期接種の推奨期間
- 定期接種の接種可能な期間
- 任意接種の推奨期間
- 任意接種の接種可能な期間
- 添付文書には記載されていないが小児科学会として推奨する期間
- 健康保険での接種時期

上記の表を参考に、かかりつけの小児科医と相談してスケジュールを立てましょう。今後、ワクチンの接種回数・接種期間の変更や新しいワクチンの追加などの可能性がありますのでご注意ください。(愛媛県小児科医会)

デジタルブック スマホやタブレットで読めます。

- 文字サイズ拡大、自動音声読み上げ ●6言語で読める・聞ける(音声読み上げ対応)

Translated into 英語 (English)、韓国語 (한국)、中国語 (簡体字 (简体中文)・繁体字 (繁體中文))、ベトナム語 (Tiếng Việt)

QRコードを読み取ると「利用の仕方」が開きます。内容を確認後、デジタルブックをお読みください。

※ベトナム語のみ、音声読み上げ非対応です。

スケジュールの注意事項

- (注1) ④は12か月から接種することで適切な免疫が早期に得られる。1歳をこえたら接種する
- (注2) 任意接種のスケジュールは日本小児科学会ホームページ「任意接種ワクチンの小児（15歳未満）への接種」を参照「URL:http://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=316」
- (注3) 乳児期に接種していない児の水平感染予防のための接種、接種間隔は、ユニバーサルワクチンに準ずる
- (注4) 計2回、②は、生後24週までに完了すること
- (注5) 計3回、③は、生後32週までに完了すること
- (注6) ③-④は6か月以上あけ、標準的には③終了後12-18か月の間に接種
- (注7) 就学前児の百日咳抗体価が低下していることを受けて、就学前の追加接種を推奨
- (注8) 百日咳の予防を目的に、2種混合の代わりに3種混合ワクチンを接種してもよい
- (注9) ポリオに対する抗体価が減衰する前に就学前の接種を推奨
- (注10) 小学校入学前の1年間
- (注11) 水痘未罹患で接種していない児に対して、積極的に2回接種を行う必要がある
- (注12) 予防効果を確実にするために、2回接種が必要である。①は1歳を過ぎたら早期に接種、②はMRと同時期（5歳以上7歳未満で小学校入学前の1年間）での接種を推奨する
- (注13) 2価ワクチンは10歳以上、4価ワクチンは、9歳以上から接種可能
- (注14) 標準的な接種ができなかった場合、定期接種として以下の間隔で接種できる（接種間隔が2つのワクチンで異なることに注意）
- ・ 2価ワクチン: ①-②の間は1か月以上、①-③の間は5か月以上、かつ②-③の間は2か月半以上あける
 - ・ 4価ワクチン: ①-②の間は1か月以上、②-③の間は3か月以上あける